

## 平成 28 年度 近畿ブロック事業報告

### 1. 活動テーマ

「地域における保健師の保健活動に関する指針」を活用した保健師活動の可視化と質の向上に向けた取り組み

### 2. 目的

効果的な保健師活動や人材育成等の取り組みなど、情報交換・研修等を行うことにより地域における保健師活動の活性化につなげる。

### 3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	5月28日(土)	和歌山県JAビル 和歌山市美園町五丁目1番地の1	第1回理事・支部長会 ・平成27年度事業報告 ・常任理事会報告 ・各支部活動計画及び情報交換 熊本地震への派遣について等 ・ブロック研修会検討
2	9月10日(土)	和歌山県JAビル 和歌山市美園町五丁目1番地の1	近畿ブロック研修会 ・全国保健師長会報告 会計担当理事 小枝恵美子氏 (鎌倉保健福祉事務所三崎センター長) ・研究報告 「地域包括ケアシステム構築における 保健所・市町村保健師の保健活動に関する研究」 研究報告者 志村明子氏 (東大和市福祉部健康課長) ・講演「人材育成について～保健師の 人材育成計画策定ガイドラインから ～」 厚生労働省国立保健医療科学院 健康危機管理研究部(併任)生涯健康 研究部 公衆衛生看護研究領域 上席主任研究官 奥田 博子氏 ・グループワーク
3	10月22日(土)	和歌山県JAビル 和歌山市美園町五丁目1番地の1	第2回理事・支部長会 ・ブロック研修報告・評価 ・情報交換
4	平成29年 2月18日(土)	和歌山県YMCA 和歌山市太田1丁目12-13	第3回理事・支部長会 ・活動のまとめ ・情報交換

#### 4. 結果・課題

近畿ブロック研修会を9月10日（土）に開催し、参加者は106人であった。参加者のアンケートから、「大変参考になった。」37%、「参考になった。」56%であり、感想は「保健師長会の組織や活動がよくわかった。」「地域包括ケアシステムの構築については、保健師間で情報を共有し地区診断する必要性を痛感した。」「次期リーダーを育てることが重要であること。人材育成の必要性について理解することができた。」等好評であった。さらに、リーダー的な保健師がグループワークで他の自治体と交流し、情報交換を行うことは実践につなぐ活力になるという感想が多かった。

今後も、会議や研修会を通じて情報交換を行い、保健師活動の可視化、地域に責任を持つ保健師活動、人材育成に取り組みたい。

#### 5. 支部活動の特徴

年3回理事・支部長会を開催し、全国保健師長会役員会の伝達、研修の企画立案、各支部の情報交換を行っている。

研修会においては、全国保健師長会の活動をより理解し、研究報告によりタイムリーな情報を自分の地域に置き換えて捉えることができ、会員間の交流・情報交換により、各所属での実践的な活用を図っている。

#### 6. 委員・支部長

○理事	竜田 登代美	和歌山県福祉保健部健康局医務課
理事	牧 広美	京都市保健福祉局保健衛生推進室保健医療課
滋賀県	澤 慰子	滋賀県健康南部健康福祉事務所
京都府	奥井 明	京都府中丹広域振興局健康福祉部中丹西保健所
大阪府	上林 孝子	大阪府健康医療部保健医療室地域保健課（兼）健康医療総務課
兵庫県	大谷 眞理子	兵庫県健康福祉部健康局健康増進課
奈良県	和家佐 日登美	奈良県中和保健所
和歌山県	小川 政予	和歌山県那賀振興局健康福祉部（岩出保健所）
京都市	（理事）	
大阪市	藪本 初音	大阪市健康局健康推進部
神戸市	山崎 初美	神戸市保健福祉局健康部予防衛生課
堺市	中井 英子	堺市子ども青少年局子ども育成課